

【第3次越谷市地域福祉計画】

令和4年度 進捗状況報告書

令和5年(2023年)7月

越谷市 地域共生推進課

目 次

進捗状況報告書について	1
1 趣 旨	2
2 計画の体系	2
3 進捗管理の対象	3
4 進捗管理方法	3
進捗状況について	5
基本目標 1	7
重点事業 1 福祉SOSゲーム等を活用した地域力の向上	8
基本方針 1 - 1 一人ひとりが互いに尊重し合い、地域で活躍できる機会づくり	9
基本方針 1 - 2 みんながつながりをもてる地域づくり	10
基本目標 2	11
重点事業 2 地域福祉に関わる関係団体の交流・連絡の機会の創出	12
基本方針 2 - 1 連携・協働による支援の輪づくり	14
基本方針 2 - 2 社会的な孤立を防ぎ、支援につなぐ仕組みづくり	15
基本方針 2 - 3 福祉サービスの更なる充実・向上に向けた環境づくり	17
基本目標 3	19
重点事業 3 分野横断型の包括的な相談支援体制の構築	20
基本方針 3 - 1 多様な生活課題への支援に向けた体制づくり	22
基本方針 3 - 2 福祉のまちづくり	24

進捗状況報告書について

1 趣 旨

本報告書は、第3次越谷市地域福祉計画（以下、「本計画」という。）の計画期間における進捗状況を把握し、将来像として掲げた「地域の新たな支え合い～いきいきと暮らせる福祉のまち 越谷～」の実現に向け、本計画を着実に推進することを目的としています。

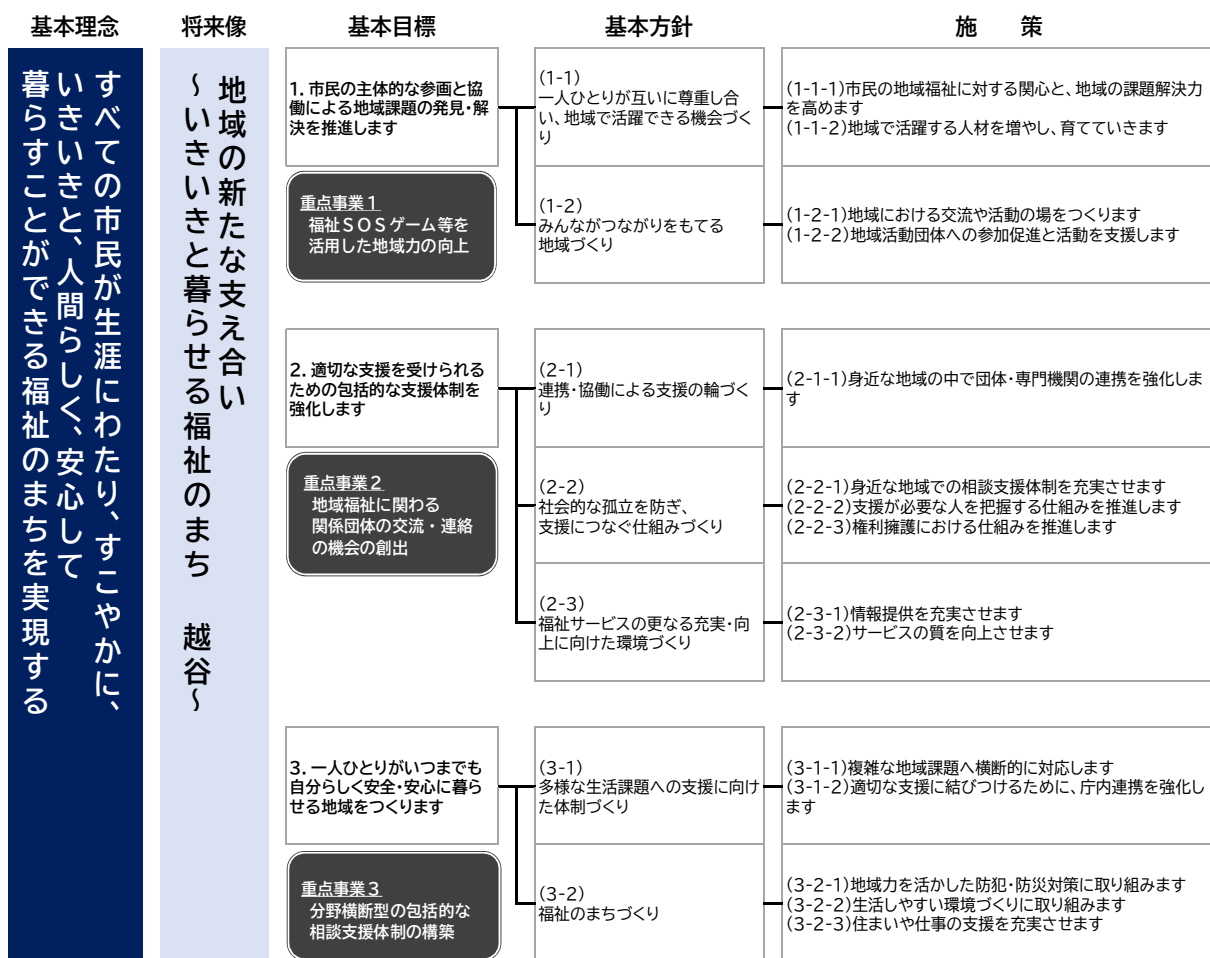
2 計画の体系

本計画は、将来像の実現に向けて、3つの基本目標と、7つの基本方針、15の施策を体系的に定め、それらに関連する事業を推進することとしています。

そして、地域共生社会の実現に向けて、基本目標ごとに代表する事業を「重点事業」として位置付けています。

また、本計画を着実に実行していくため、市の最上位計画である第5次越谷市総合振興計画と連動した「評価指標」を施策ごとに設定するとともに、各施策に関連する事業を「主な取り組み」として表示し、それぞれの進捗状況を把握します。

《計画の体系》



3 進捗管理の対象

本報告書では、計画期間のうち各年度における取組みに対する進捗管理を行います。

本報告書
対象年度

《対象年度》	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
総合振興計画			第5次		
地域福祉計画			第3次		
高齢者保健福祉計画・ 介護保険事業計画		第8期			
障がい者計画			第5次		
障がい福祉計画・ 障がい児福祉計画		第6期(障がい者福祉)・第2期(障がい児福祉)			
子ども・子育て 支援事業計画		第2期			

4 進捗管理方法

本報告書では、3つの基本目標ごとの施策の評価を行うため、それぞれの目標に位置付けた「重点事業」「評価指標」に対する進捗管理を行います。

① 重点事業

計画期間中：関連する評価指標の実績値を把握するとともに、各年度の取組状況を表示

計画期間終了時：関連する評価指標の令和7年度目標値における達成状況を判定するとともに、計画期間中における取組状況を表示

② 評価指標

計画期間中：実績値を把握するとともに、各年度の取組状況を表示

計画期間終了時：令和7年度目標値における達成状況を判定するとともに、計画期間中における取組状況を表示

進捗状況について

基本目標 1

市民の主体的な参画と協働による地域課題の発見・解決を推進します

重点事業1 福祉SOSゲーム等を活用した地域力の向上

身近な地域の問題を「自分ごと」として捉える意識を育むことを目指して・・・

福祉課題への対応策についてグループワークを行う「福祉SOSゲーム」を地域で実施し、地域の福祉資源や課題の共有と、助け合いの意識醸成を図ります。

【関連する評価指標】

事業名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
地区版福祉SOSゲーム の研修会実施件数 (累計)	なし	1件	11件				50件	

◎ 令和4年度 of 取組み

地区版福祉SOSゲームを活用した、地域住民向けのグループワーク型研修会を10回開催した。

本研修は対面型を基本としていることから、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により1回の開催にとどまったが、規制緩和に伴う各団体の活動再開等を背景に、各地区民生委員・児童委員協議会を中心に年間10回を達成した。

引き続き、自治会や民生委員等への周知を図るとともに、企業や大学等への働き掛けを行うなど、研修機会の拡充を図る。

【実施状況】

実施件数 10件

分類	件数	内 訳
民生委員・児童委員協議会	5件	蒲生、大相模、越ヶ谷、桜井、大沢
ふれあいサロン	4件	オーベル北越谷サロンオーベル、蒲生茶屋通り、赤山すみれ会、悠々元気倶楽部
学校	1件	越谷特別支援学校

《SOSゲームの流れ》



基本方針1-1 一人ひとりが互いに尊重し合い、地域で活躍できる機会づくり

第3次計画における目指す姿

- 幅広い世代の地域住民が自分達の地域に関心を持ち、地域や福祉に関する理解を深め、参画していくための意識の醸成・参加の更なる促進を目指します。
- またそれらを実現するために、地域住民が知識を習得するための機会を拡充していきます。

【各施策の状況】

施策1-1-1 市民の地域福祉に対する関心と、地域の課題解決力を高めます

(施策の方向性)

地域住民一人ひとりが地域福祉に対する理解と関心を深め、主体的に考え行動するきっかけとなるよう、課題解決のための知識を習得できる研修や学習の機会を充実させます。

事業名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
★地区版福祉SOSゲームの研修会実施件数(累計)	0件	1件	11件				50件	

【取組状況】

地域資源を学ぶことで、地域福祉力の向上を図る福祉SOSゲームの研修会について、各地区の民生委員等への周知を図ったことにより、年間目標の10回を達成することができた。引き続き、自治会や地域で実施されているサロンのほか、民間企業等への周知を行うなど、様々なアプローチ方法により、市全体の地域福祉力の向上に努めていきたい。

施策1-1-2 地域で活躍する人材を増やし、育てていきます

(施策の方向性)

地域福祉活動の担い手を増やすため、人材育成を目的とした研修や講座を充実させるとともに、地域住民の支え合い活動を支援します。

事業名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
認知症サポーター養成数(年間)	4,926人	2,596人	3,330人				5,000人以上	

【取組状況】

高齢化の進展とともに、認知症高齢者数が増加しており、介護者への負担軽減や周囲の理解が重要になってきている。そのため、認知症について地域社会の理解を深めるため、「認知症サポーター養成講座」の開催や、地区健康教育で認知症についての講話を行った。令和4年度は3,330人(うち小中学校にて1,929人)の認知症サポーターを養成した。令和3年度の2,596人と比較し、令和4年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、目標数には達しなかったが、企業等の開催は徐々に増加傾向である。また、認知症サポーターを対象として、より深く実践的な知識を身につけボランティア活動につなげていくことを目的とした認知症サポータースキルアップ講座～入門編～及び～上級編～を引き続き開催した。

基本方針1-2 みんながつながりをもてる地域づくり

第3次計画における目指す姿

- すべての地域住民が住み慣れた地域で楽しく暮らし続けられるよう、地域住民同士が交流できる機会や場所を創出し、みんながつながりをもてる地域づくりを目指します。
- またそれらを実現するために、地域活動への参加促進と、地域で活動する団体の活動支援を行います。

【各施策の状況】

施策1-2-1 地域における交流や活動の場をつくります

(施策の方向性)

地域交流の充実を図るため、多様な交流の場、活動の場を確保するとともに、地域交流事業を推進します。

事業名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
老人福祉センターの利用者数(年間)	29万 5,360人	18万 5,058人	20万 9,391人				30万人	

【取組状況】

老人福祉センターについては、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら主催事業を行うなど、適切な管理運営に努めた。

また、「ふらっと」については、新型コロナウイルス感染対策を行いながら、講座イベントを開催するなど、利用者数の増加に努めた。

施策1-2-2 地域活動団体への参加促進と活動を支援します

(施策の方向性)

地域住民の団体活動への参加促進と活動支援を通じて、地域活動の活性化を図ります。

事業名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
地域コミュニティ活動の新規・拡充事業数(年間)	17事業	16事業	14事業				20事業 以上	

【取組状況】

各地区のコミュニティ推進協議会に助成金を交付し、各種事業に対する支援を行った。

今後も市民活動と地区コミュニティ活動の接点を設け、協力関係を構築するなど、相互の活動の理解と発展を図る。

基本目標 2

適切な支援を受けられるための
包括的な支援体制を強化します

重点事業2 地域福祉に関わる関係団体の交流・連絡の機会の創出

地域の中で、福祉のネットワークの輪が広がることを目指して…

地域福祉や相談支援等に関わる個人や団体・組織同士が連携を強化するため、交流・情報交換の場を設け、地域の状況や課題・解決策等を共有できる機会を創出します。

【関連する評価指標】

事業名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
地域福祉に関わる関係団体の 交流・連絡の機会の創出	なし	設置 運用	設置 運用				設置 運用	

◎ 令和4年度の取組み

令和3年度に地域福祉に係わる関係団体の交流を深めるための会議体を発足し、情報交換を行った。

令和4年度は、2回の会議を開催し、重層的支援体制整備事業の開始を踏まえた各参加団体における支援に関する情報交換を行ったほか、ひきこもり支援に関する講義形式の会議を開催するなど、関係団体の連携強化に努めた。

【構成団体】

本事業は、各分野の支援に関わる下記の団体を基本に構成し、内容に応じて他団体等に参加いただき実施する。

団体名	種別	分野
地域包括支援センター	行政(委託)	高齢者
障害者等相談支援事業所(4エリア)	行政(委託)	障がい
生活自立相談よりそい	行政(委託)	生活困窮
ボランティア連絡会	ボランティア	ボランティア
国際交流協会	ボランティア	多文化
子育てサポーター チャオ	NPO	子育て
社会福祉協議会	社会福祉法人	地域福祉
民生委員・児童委員協議会	ボランティア	地域福祉
埼玉フードパントリーネットワーク	NPO	児童福祉、生活困窮

【会議の開催状況】

■ 第1回会議の概要

開催日時：令和4年7月26日（火）14時～15時30分

参加者：9人（9団体）

内容：（1）重層的支援体制整備事業について

・7月からの事業開始に伴い、あらためて事業の説明を行った。

（2）複合的な課題を抱えた市民の対応について

・各団体での対応について情報交換を行った。

■ 第2回会議の概要

開催日時：令和5年2月15日（水）14時～15時40分

参加者：12人（12団体）

講師：特定非営利活動法人越谷らるご 理事長 鎌倉 賢哉 氏

内容：（1）ひきこもり支援の取組みについて

・講師の鎌倉氏から、日ごろの取組みや支援において大切にしていることなどについてご講義いただいた。

（2）情報交換

・講義を踏まえた情報交換を行った。



（交流・連絡会の様子）

基本方針2-1 連携・協働による支援の輪づくり

第3次計画における目指す姿

- 幅広い世代の地域住民が自分達の地域に関心を持ち、地域や福祉に関する理解を深め、参画していくための意識の醸成・参加の更なる促進を目指します。
- またそれらを実現するために、地域住民が知識を習得するための機会を拡充していきます。

【各施策の状況】

施策2-1-1 身近な地域の中で団体・専門機関の連携を強化します

(施策の方向性)

地域における相談ごとを円滑に解決するため、福祉関係団体・専門機関の連携を強化します。

事業名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
地域包括支援ネットワーク協力事業所数(累計)	471カ所	507カ所	517カ所				530カ所	

【取組状況】

地域の住民・関係団体・事業所の方に御協力をいただき、支援を必要とする方を早期に発見し、問題が深刻化する前に対応する「地域包括支援ネットワーク事業」を推進した。地域包括支援ネットワークの趣旨に賛同いただいた協力機関・団体からの情報提供により、支援を必要とする方の早期発見・早期対応に結びつけた。

令和4年度は、関係団体等へのあいさつ回りなど、2,133回の周知活動を行った。

事業名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
★地域福祉に関わる関係団体の交流・連絡の機会の創出	なし	設置 運用	設置 運用				設置 運用	

【取組状況】

令和3年度に地域福祉に係わる関係団体の交流を深めるための会議体を発足し、情報交換を行った。

令和4年度は、全2回開催した会議のうち、1回は講師を派遣し、ひきこもり支援について講義を実施するなど、関係団体の連携強化に努めた。

基本方針2-2 社会的な孤立を防ぎ、支援につなぐ仕組みづくり

第3次計画における目指す姿

- 地域のつながりにより、何かあった際（困難や悩みを抱えた場合など）に周囲が気づいたり、本人がためらわずに相談支援につながるができる地域づくりを目指します。

【各施策の状況】

施策2-2-1 身近な地域での相談支援体制を充実させます

（施策の方向性）

地域住民に身近な地域での相談支援体制を充実させ、地域生活課題に対し迅速に対応します。

事業名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
地域包括支援センター 設置数(累計)	11カ所	12カ所	12カ所				13カ所	

【取組状況】

地域における高齢者の総合的な相談窓口である「地域包括支援センター」については、本市のコミュニティ区域である13地区すべてへの単独の設置に向け取り組んでいる。

現在までに12カ所の設置を完了しているが、荻島地区と北越谷地区の2地区を担当する地域包括支援センターについては、荻島地区に設置されており、単独設置ができていないため、北越谷地区の設置に向けた取組みを進める。

施策2-2-2 支援が必要な人を把握する仕組みを推進します

（施策の方向性）

地域で支援を必要としている人を把握し、アドバイスを行ったり、適切な福祉機関につなげる仕組みづくりを推進します。

事業名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
民生委員・児童委員相談 支援件数(年間)	9,740件	7,278件	7,380件				1万件 以上	

【取組状況】

関係機関との協力体制を図り、地域住民への訪問活動を行った。

今後も委員への研修案内などの情報提供や、関係機関と連携を図り、活動の円滑化を図る。

施策2-2-3 権利擁護における仕組みを推進します

(施策の方向性)

権利擁護に関する仕組みの充実と、適切な利用に向けた制度の周知を行います。

事業名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
成年後見制度にかかる中核機関の設置数(累計)	なし	1カ所	1カ所				1カ所	

【取組状況】

判断能力の不十分な高齢者、障がい者等の権利と財産を守る法的な支援制度として、成年後見制度が身近なものとして活用されるよう、制度の周知や利用啓発、個別相談への対応を行った。

また、地域連携ネットワークの中核機関として、成年後見センターこしがやにて、専門職を加えたケース検討会議の開催、地域の関係専門職団体等による地域の課題を検討、調整及び解決するための検討を行う協議会の開催（令和4年7月、令和5年2月開催）、対象者別パンフレットの作成（本人親族向け・関係者向け）、福祉関係向け研修会の開催（介護事業所・障害サービス事業所）等の取組みを実施した。

基本方針2-3 福祉サービスの更なる充実・向上に向けた環境づくり

第3次計画における目指す姿

- 福祉を取り巻く環境の変化、ニーズの高まりや多様化などに応じ、さらなる福祉サービスの質の向上やサービスに関する情報提供の充実を目指します。

【各施策の状況】

施策2-3-1 情報提供を充実させます

(施策の方向性)

支援を必要とする人が、必要としている情報を入手できるよう、様々な媒体を活用した情報提供を行います。

事業名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
地域包括支援センターを知っている人の割合	64.1%	調査 実施なし	61.1%				80%	

【取組状況】

高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターにおいて、介護や健康、生活等に関する相談に応じ、必要な情報提供を行った。

また、支援が必要な人が地域包括支援センターへの相談に繋がるよう、広報紙やCityメールの配信、市ホームページへの掲載をはじめ、地域の高齢者が集まるサロン等へ積極的に参加するなど、地域包括支援センターの周知を行った。

施策2-3-2 サービスの質を向上させます

(施策の方向性)

サービス利用者がより質の高い福祉サービスを受けられるよう、サービスの質の確保や、苦情解決のための仕組みの充実を図ります。

事業名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
福祉施設・事業所への 集団指導の出席状況	93.8%	64.0%	94.3%				90%	

【取組状況】

適正な施設・事業運営、各種サービス等の質の確保及び費用請求の適正化を図るため、実地にて定期及び随時の指導監査を実施した。

なお、講習等の方法で実施する集団指導については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、資料を市ホームページに掲載・周知する形式で行った。

基本目標3

一人ひとりがいつまでも自分らしく安全・安心に暮らせる地域をつくります

重点事業3 分野横断型の包括的な相談支援体制の構築

越谷市全体での包括的相談支援体制の充実を目指して…

高齢者、障がい者、児童、生活困窮者などに対する分野ごとの相談支援体制では、対応が困難で課題が複合化・複雑化しているケース、制度の狭間にあるケースなどに対し、対応策について庁内で検討できる「庁内連携会議」を用いて課題解決を目指します。

【関連する評価指標】

事業名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
庁内連携会議の設置・運用	なし	設置 運用	設置 運用				設置 運用	

◎ 令和4年度の取組み

令和3年8月に「地域共生社会の実現に向けた庁内連携会議」を設置し、方向性を定める課長級会議、複雑・複合的な課題を抱えるケースを検討する副課長・主幹級の協議部会を開催している。

令和4年度は、重層的支援体制整備事業やケアラー支援について協議を行うため、課長級会議を2回、協議部会を1回開催した。

引き続き、重層的支援体制整備事業をはじめ、地域共生社会の実現に向けた庁内連携を図っていく。

【構成課所】

地域共生社会の実現に向けた主な分野に関連する課所により組織する。

課 所 名	分 野
地域共生推進課	地域福祉、高齢者
地域包括ケア課	高齢者
福祉総務課	福祉全般
生活福祉課	生活困窮
障害福祉課	障がい
子ども施策推進課	児童
子ども福祉課	児童
健康づくり推進課	健康
こころの健康支援室	障がい
くらし安心課	行政全般
教育センター	児童

【会議の開催状況】

■ 越谷市地域共生社会の実現に向けた庁内連携会議(課長級会議) 2回開催

《第1回会議の概要》

開催日時：令和4年6月27日（月）14時～15時20分

内 容：（1）重層的支援体制整備事業の実施について

・7月からの事業開始に向け、あらためて事業の説明を行った。

（2）ケアラー支援について

・今後の本市のケアラー支援に向けた認識の共有を図った。

《第2回会議の概要》

開催日時：令和4年10月7日（金）13時30分～15時

内 容：（1）ケアラー支援について

・本市におけるケアラー支援の取組状況及び市ホームページ等を活用した周知方法の報告のほか、令和5年度に予定するケアラー実態調査についての説明を行った。

（2）重層的支援体制整備事業について

・9月に実施した第1回重層的支援会議・支援会議の報告のほか、令和5年度当初予算に向け重層的支援体制整備事業交付金の活用について協議を行った。

■ 越谷市地域共生社会の実現に向けた庁内連携会議(協議部会) 1回開催

《第1回会議の概要》

開催日時：令和4年5月23日（月）10時～11時

内 容：（1）地域共生社会と重層的支援体制整備事業について

・7月からの事業開始に向け、あらためて事業の説明を行った。

（2）今年度の庁内連携会議 協議部会の役割について

・協議部会員については、主に複雑的・複合的な課題を抱えるケースについての協議を行う重層的支援会議・支援会議に参加し、支援プランについての協議を行うことを報告した。

（3）重層的支援体制整備事業実施マニュアルについて

・マニュアルについての協議を行った。

基本方針3-1 多様な生活課題への支援に向けた体制づくり

第3次計画における目指す姿

- 複雑・多様化する地域課題に対応するため、世帯や対象者の状況に応じたきめ細かい支援を行うとともに、その世帯や一人ひとりの自立につながるよう、関係機関の連携のもと、状況に応じ相談者に寄り添い、関わりを持ち続ける伴走型支援を行うことを目指します。

【各施策の状況】

施策3-1-1 複雑な地域課題へ横断的に対応します

(施策の方向性)

相談窓口の整備と庁内連携の充実を通して、複雑な課題を抱えた市民の相談に迅速で横断的に対応します。

事業名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
自立相談支援事業により自立に向けた改善が見られた割合	87.9%	93.6%	98.0%				90%	

【取組状況】

生活困窮者の自立促進を図り、本人の状態に応じた包括的、かつ継続的な支援を行うため、生活困窮者自立支援事業、子どもの学習・生活支援事業、就労準備支援事業及び住居確保給付金の支給を行った。

《令和4年度末 支援状況》

- ①生活困窮者自立相談受付件数 503件
- ②子どもの学習教室参加人数 88人 (小学生16人・中学生37人・高校生等35人)
- ③就労準備支援事業利用者数 25人
- ④住居確保給付金支給世帯 延べ89世帯 (単身61世帯・複数28世帯)

事業名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
子どもの学習・生活支援事業参加率	29.7%	27.5%	28.7%				40%	

【取組状況】

貧困の連鎖の防止を目的とし、生活困窮世帯・生活保護世帯の小学生(3年生～6年生)、中学生及び高校生等に対し、学習支援教室の開催、家庭訪問等による相談業務(子どもやその親が日常的な生活習慣を身につけることができる支援、進学に関する支援、中退防止)、子どもの就労意欲の喚起に関する支援を実施した。(参加人数は上記《令和4年度末 支援状況》②のとおり)

施策3-1-2 適切な支援に結びつけるために、庁内連携を強化します

(施策の方向性)

悩みごとを抱えた市民に適切な支援を提供できるよう、庁内連携を強化します。

事業名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
★庁内連携会議の 設置・運用	なし	設置 運用	設置 運用				設置 運用	

【取組状況】

本市の地域共生社会の実現に向け、分野を超えた横断的な取組みを推進するため、令和3年度に「地域共生社会の実現に向けた庁内連携会議」を設置した。

令和4年度は、主に重層的支援体制整備事業及びケアラー支援について協議を行った。

《令和4年度 開催状況》

- ①方向性を定める課長級会議 2回
- ②複雑・複合的な課題を抱えるケースを検討する副課長・主幹級の協議部会 1回

基本方針3-2 福祉のまちづくり

第3次計画における目指す姿

- 地域住民が安全に安心して住み続けるための「福祉のまちづくり」を推進するために、防犯・防災、公共交通、居住・就労など、多種多様な分野において福祉の視点が行き届いたまちづくりを目指します。

【各施策の状況】

施策3-2-1 地域力を活かした防犯・防災対策に取り組みます

(施策の方向性)

防犯・防災に向けた活動を行っている団体への支援と、市の体制整備の両輪により、安全に安心して暮らせる地域づくりを推進します。

事業名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
自主防災組織のカバー率	90.7%	92.0%	93.0%				92.5%	

【取組状況】

自主防災組織に対して、防災備蓄倉庫の設置や資器材の購入に補助金を交付した。

さらに、防災知識の普及、意識の啓発、自主防災組織の必要性などについて、自主防災組織や自治会等に対し出張講座や講師派遣を実施した。

《令和4年度実績》

補助金交付件数 142件 補助金額 11,772,000円 出張講座・講師派遣回数 41回

施策3-2-2 生活しやすい環境づくりに取り組みます

(施策の方向性)

公共施設のユニバーサルデザイン化や、利便性が高く持続可能な公共交通網の形成を通じて、より生活しやすい環境づくりを推進します。

事業名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
公共交通の満足度	66%	63%	54%				70%	

【取組状況】

越谷市地域公共交通計画に基づき、こしがや公共交通ガイドマップを作成し、公共施設や民間施設へ配布することで、公共交通の利用促進を図った。

施策3-2-3 住まいや仕事の支援を充実させます

(施策の方向性)

地域生活を営む上で欠かすことができない「居住」と「就労」に関する支援を充実させ、地域住民の豊かな生活実現を目指します。

事業名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
セーフティネット住宅登録戸数(累計)	1戸	2,062戸	2,180戸				420戸	

【取組状況】

セーフティネット住宅の登録戸数を増加するため、市ホームページにより周知等を行った結果、目標を大きく上回る実績となった。

第3次越谷市地域福祉計画 進捗状況報告書(令和4年度)

令和5年(2023年)7月発行

発行 越谷市
編集 越谷市 地域共生部 地域共生推進課
〒343-8501
越谷市越ヶ谷四丁目2番1号
TEL: 048-963-9187